

「アルバイトをして学んだこと」

島根県立浜田高等学校（定時制）

1年次 栗栖 亜衣

定時制高校に入学して、夏休みに初めてアルバイトをしました。きっかけは学校で配られた一枚のプリントでした。プリントには、進学を希望する高校生・保護者のための「いわみ☆魅力と仕事発見セミナー」と書かれてありました。その時は、たいして気にもとめずにファイルにしまいました。

それから数日後のことでした。放課後、帰りのJRの時間があるので急いで外に出ようとした時、背後から「亜衣ちゃん」と声をかけられ、振り向くとそこには一人の男性が居ました。人材確保育成コーディネーターのSさんでした。

Sさんとは、私が中学生の時、不登校で1ヶ月に一回、登校するかしんないかの学校生活を送っていた時に、私がたまたま校長室にいたことで出会いました。その頃の私は、家に引きこもってばかりで、殻に閉じこもった生活をしていました。

校長先生の知り合いと紹介され、成り行きで何故かお話することになった私。Sさんも仕事の合間に学校に寄られたようで、今思えば、本当に偶然で奇跡と言っていい出会いでした。

高校で会えた事に驚いてびっくりする私に、Sさんは仕事の打ち合わせで来たんだ、と説明してくれました。そしてSさんは、「今、イベントを企画していて、今度こういうセミナーがあるんだけどちょっと来てみない？」と、先日学校で配られたのと同じセミナーのプリントを渡してくれました。県外に進学しても、地元にもこんなに素晴らしい魅力ある会社があるんだ、ということを進学する生徒に知ってもらうためのセミナーだということでした。気にもとめずにファイルにしまった紙切れ一枚のそのプリントは、偶然、Sさんに誘われたというだけで、私の中で大きな意味を持つものになりました。同じプリントでも、こんなにも違うもののように見えるのは、人との繋がりのかな、と思った瞬間でした。「帰って母に相談してみます。」と言って別れたにも関わらず、Sさんに誘われた嬉しさのあまり帰宅まで待ちきれず、すぐ母に電話をした私がいまいました。

セミナー当日、ドキドキしながら母と会場となるホテルへ行きました。途中、制服を着た何十人の高校生が同じ場所に向かっていました。会場に入ると、既に百人を超える制服姿の高校生が椅子に座っていました。それに対して、制服の指定のない私は私服。ですが、一人だけ…という孤独感や恥ずかしさという窮屈感は全く無く、むしろ、同い年の顔見知りがいなかったからか、堂々と立ち振る舞うことができました。セミナーは、二十五社ある中の五ヶ所を自分で選び、そのブースを十五分ずつのローテーションで回り、説明を受けるというものでした。

そのセミナーで、豆腐の製造会社の社長に出会いました。お話を聞く中で、今の会社をより良くし、もっと大きくしようと考えておられる社長のお話を聞いて、私は自然とこの社長さんの人柄にひかれ、この会社で働きたいと思いました。

説明の後、私は「この人の元で働きたい！」その一心で、夏休み期間中バイトをさせていてだけないかと直談判しました。元々、夏休みに家でゆっくりするのは嫌で、アルバイトをしたいと思っていたこともあり、しかも、私が大の豆腐好きときて、これだ！と思い、直談判したのでした。Sさんの仲介もあり、この会社でのインターンシップが決まりました。

インターンシップを始めて何日か経ったある日、仕事が終わって帰る間際、「大したもんだ！」と褒められたことがありました。その時は、にやつきながら駅に向かったことを覚えています。

そして、一週間が過ぎた時、社長からアルバイトに切り替えるお話をいただきました。その時は、初めて自分が認められたようでとても嬉しかったのを覚えています。食品を扱う会社での衛生管理徹底の姿勢、働いてお金を稼ぐことの大変さ、注文に間に合うように時間に追われる仕事を、どうやったら作業の短縮が出来るかなど自分なりに考え、従業員さんの手先をみて、真似てみたりもしました。そうしているうちに、新しい仕事も教えてくださり、手が空いている時には逆に、ちょっとお手伝いをすることもありました。そうした些細なことが私にとってはとても嬉しくて新鮮でした。

いろんな人の繋がりや、ここまでこれました。セミナーに誘ってくれて、インターンシップの仲介をしてくださったSさん、いきなりのバイトの申し込みを快く引き受けてくださった社長さん。他にもたくさんの方々が、助言してくれたり、様子を見にきてくれたりしました。

しかし、決して良いことばかりだった訳ではありません。朝が早い中、寒い場所での作業に体調が悪くなることや、片道1時間半の汽車の中で、つい寝過ごしたこともありました。知らない駅で降り、一瞬パニックになったこ

ともありました。しかし、そこでもまた見知らぬ人達のおかげで対処することができました。今思えば、その時の失敗もまたより自分を成長させてくれるものとなったような気がします。

私のやりたい事を全力で応援し、支えてくださった周囲の方々に、言葉では言い表せないこの感謝の気持ちを、せめて行動で伝えよう。その思いがあったからこそ、最後までやりきることができ、意味のある大切な夏休みになりました。

アルバイトをした事で、人との繋がり大切さと、その繋がりから湧き上がってきたやる気を改めて実感できました。きっとこの体験はこれからの私の高校生活に大きな自信を与えてくれると思います。この経験を高校生活にどう活かせるか。それがこれからの私の課題です。